

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第113号 2013年 4月

やどりき水源林ニュース

発行(公財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
 220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 045-412-2255 <http://www.ktm.or.jp> E-mail:midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ(費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

春爛漫の水源林



ミツマタと巨木林: やどりき水源林の目玉の一つがミツマタです。この時期この花を目当てに来られる方も多いです。

今年の冬は例年になく寒い日が続きましたが、3月以降の気温上昇で、春の花が一斉に開花を始めました。

水生生物も活動を始め、ミソサザイ、シジュウカラ、ウグイスなどの野鳥の鳴き声と、沢の水音のハーモニーがとても心地よく聞こえます。春の水源林の様子をお届けします。



アブラチャン: 花は小ぶりですが、鮮やかな黄色が目立ちます



キブシ: かんざしのような独特な花が春の野山を彩ります。



マメザクラ: 別名フジザクラ。フォッサマグナ要素の植物です。



ジュウガツザクラ: 長く続いた花も今月がクライマックス。



ミヤマシキミ(雌株): 雌雄異株で雌株は花穂が大きい。



アセビ: つぼ型の鈴のような白い花をたくさん咲かせます。



クロモジ(つぼみ): 葉の付け根に淡黄緑色の花が開きます。



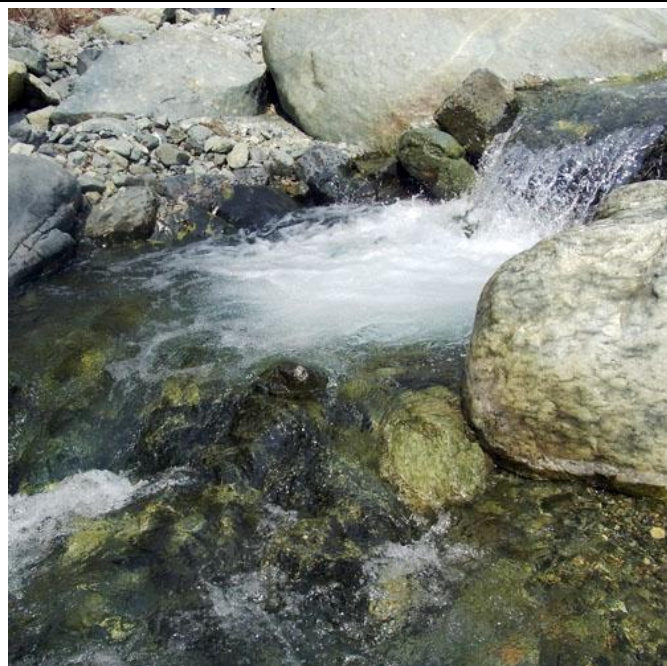
ミツハツツジ(つぼみ): もとうすく開花です。



タチツボスミレ: 道端のあちこちに咲いています。



エイザンスミレ: 切れ込みが深い葉が特徴です。



水の中をのぞいたり、石をひっくり返してみると、色々な水生生物が活動を始めたのが分かります。



カゲロウの仲間：周りの石にすっかり溶け込んでいます。



カゲロウの仲間：水中でじっとしていました。



ヒゲナガカワトビケラ：小石で作った巣からお目覚め。



ユスリカの脱皮：大量の抜け殻がありました。

沢の水は春の陽の光に照らされて光り輝いて流れていました。水も温み、生物の活動が一斉に始まりました。右は水たまりで見つけた、アズマヒキガエルの卵です。



やどりき水源林 森の案内人研修会



やどりき水源林では、かながわ森林インストラクターの会会員が「森の案内人」として、来訪された方々の案内や、成長の森巡回・経路巡回などの活動を行っています。毎年度末には登録会員が集まり、活動報告および次年度に向けた活動計画の話し合いを行っています。

H24年度は3月10日に実施しました。研修会の後、全員で施設・林道周辺の清掃を行いました。

神奈川県での取り組み



やどりき水源林 B コースの橋と柵の改修が行われ、さらに安全に周遊できるようになりました。また、管理棟前の案内板も新しくなり、大変わかりやすくなりました。

4月のトピックス

渓流沿いで早春から鳴いているミソサザイ。南の国からやってくるオオルリ。沢からはカジカガエルの声が聞こえます。鳥のさえずりやカエルの声で、やどりき水源林は賑やかです。

5月の水源林

5月から6月にかけてやどりき水源林は各種ウツギの花盛りです。ヒメウツギ、マルバウツギ、ウツギの順で次々と花を咲かせて行きます。過去11種類ほどのウツギが観察されています。

(写真はマルバウツギ)

